

平成 18 年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 楽しいスポーツを支援する会

1、 事業の成果

第 3 期目の事業年度では、独立行政法人福祉医療機構助成事業のアクアムーブメントボール事業が 3 月末日までと、その後継続して、知的障害児のためのアクアムーブメントボールを 2 回開催、重度障害児のアクアムーブメントを 2 回開催、高齢者のアクアムーブメントを 1 回開催し、アクアムーブメント指導者養成講習会を小児科医で水泳指導教本にも執筆なさっている辻山タカ子先生をお招きして 2 回開催しました。

昨年度後期より継続している助成事業のアクアムーブメントボール事業では、知的障害者のアクアムーブメントボール 3 回、身体障害者のアクアムーブメントボール 3 回、高齢者と関節疾患者のアクアムーブメントボール 2 回、アクアムーブメント指導者養成講習会 4 回を開催し、NPO 法人活動情報誌を第 1 号から第 4 号までの 4 巻を発行しました。この助成事業の纏めとして報告書と一緒に DVD を 100 枚作成しました。この DVD は遠藤義晴氏の制作によりますが、1 年間の助成事業の内容と、NPO の活動理念が込められたよいものが出来ました。

2、 事業内容

(特定非営利活動に係る事業)

① スポーツ普及事業

ア、 アクアムーブメントボール事業

独立行政法人福祉医療機構障害者スポーツ支援基金「特別分」助成事業

日時 平成 18 年 10 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日

アクアムーブメント指導者養成講習会

開催日時 第 4 回 平成 18 年 10 月 2 日 第 5 回 平成 18 年 11 月 3 日
第 6 回 平成 18 年 11 月 23 日 第 7 回 平成 19 年 2 月 12 日

開催場所 第 4 回 島田市営プール
第 5 回 柿の実幼稚園
第 6 回 柿の実幼稚園
第 7 回 柿の実幼稚園

参加人数 第 4 回 15 名 第 5 回 13 名 第 6 回 15 名 7 回 11 名

講師リスト 荒井正人(NPO 法人楽しいスポーツを支援する会認定講師・NPO 法人 JAEA 副理事長・水中ムーブメント協会会長・日本体育協会認定公認スポーツ指導員(水泳)・日本体育協会認定公認コーチ(水泳)・日本ムーブ

メント教育協会認定専門指導員)

阿部明子(NPO 法人楽しいスポーツを支援する会認定講師・日本体育協会認定
A 級水泳教師・(社)日本スイミングクラブ協会 公認水泳教師認定
専門科目講師・(社)日本スイミングクラブ協会 ・アクアフィットネ
スインストラクター養成専門科目講師)

八木香 (NPO 法人楽しいスポーツを支援する会認定講師日本ホリスティッ
ク協会 FC トレーナー・FNC アクアパーソナルトレーナー日本アク
アサイズ協会認定講師・健康運動指導士・中高等学校保健体育教諭 1
種免許)

- 講習内容
- 第 4 回 重度重複障害児(者)を対象とした
アクアムーブメントの実際と理論
乳幼児のプール指導の実際と理論
 - 第 5 回 知的障害児(者)を対象とした
アクアムーブメント実際と理論
知的障害児(者)のアクアムーブメントボール実践研修
 - 第 6 回 知的障害児(者)を対象とした
アクアムーブメント実際と理論
知的障害児(者)のアクアムーブメントボール実践研修
 - 第 7 回 知的障害児(者)を対象とした
アクアムーブメント実際と理論
知的障害児(者)のアクアムーブメントボール実践研修

上記講習会のため

実行委員会において事前会議

昨年度旗 1 枚作成 チラシ 1500 部作成

配布先：養護学校・小学校・NPO 会員・行政機関・スイミングスクール・スポーツクラブ・
関係団体・希望者

事務局が講師と打ち合わせ

会場設定については事務局が調査後、講師事務局が現地調査決定

アルバイト 5 人依頼

講義資料作成

収支： 収入 102,000 円 支出 208,900 円

不足分は助成金より

実施内容

アクアムーブメント指導員養成講習会を 4 回開催したが、参加者はアクアムーブメント
ボール事業の主旨と、アクアムーブメントの理念・方法についての理解がある程度出来た
と思える。特に島田市に措いて 10 月の参加者は若い人が多く、アクアムーブメントの将来

の発展にも繋がる。また、5回から7回は柿の実幼稚園で知的障害者のアクアムーブメントボールと関連付けて、当NPO法人の指導員資格取得者が多く参加し実技と理論をかみ合わすことが出来、有意義な講習会であった。

但し、当初の定員になった講習会はなく、事前の宣伝の方法を考える必要がある。アクアムーブメントボール事業を推進していくためには、良き理解者となる指導員養成は欠かせない大きな事業であるので、その主旨、理念を分かりやすく伝え、水中運動指導者、教員、運動関係者のみならず、一般の方々にも理解していただけるような活発な活動をしていきたいと考えている。

知的障害者のアクアムーブメントボール

開催日時	第1回 平成18年11月3日	第2回 平成18年11月23日	第3回 平成19年2月12日
開催場所	第1回 柿の実幼稚園	第2回 柿の実幼稚園	第3回 柿の実幼稚園
参加人数	第1回 14名	第2回 11名	第3回 10名
講師	荒井正人(NPO法人楽しいスポーツを支援する会認定講師・NPO法人JAEA副理事長・水中ムーブメント協会会長・日本体育協会認定公認スポーツ指導員(水泳)・日本体育協会認定公認コーチ(水泳)・日本ムーブメント教育協会認定専門指導員)		
	阿部明子(NPO法人楽しいスポーツを支援する会認定講師・日本体育協会認定A級水泳教師・(社)日本スイミングクラブ協会 公認水泳教師認定専門科目講師・(社)日本スイミングクラブ協会 ・アクアフィットネスインストラクター養成専門科目講師)		
指導員	第1回 緒方厚子 小暮利枝 広瀬靖恵 渡部とよこ 田中光子 松崎美子 大月恵美子 笠井陽子 高橋幸広 久保田睦子		
	第2回 小暮利枝 広瀬靖恵 渡部とよこ 田中光子 松崎美子 深沢武 笠井陽子 久保田睦子 市川容子 河合由美子 五十嵐久爾子		
	第3回 高橋幸広 広瀬靖恵 渡部とよ子 田中光子 深澤武 笠井陽子 がレアノ洋子 市川容子 五十嵐久爾子 河合由美子 久保田睦子		
収支:	収入0円 支出170,540円 不足分は助成金より		

実施内容

1回目は、楽しく水に慣れることと指導員・参加者のコミュニケーションを図り、信頼関係を作ることを重点にした。2回目以降から、遊びの中にルールを入れながら構成的な

遊び「ゲーム」に移行していった。遊びからの発展により、ルールが受け入れやすく、簡単なシュート型のゲームが成立した。カラーボールは視覚的インパクトがあり、動機付けには十分であり、1回目のムーブメントは2回目以降の期待感を十分持たせることができた。合図があるまで待ったり、交代や順番を守ったり、社会性を高めていく内容も多く、参加者の力と興味・関心を考慮しながらアクアムーブメントボールはすすめられた。参加者と指導者・介助者で工夫・応用をしながら、楽しみながら場面理解を深めていった。

知的障害者のアクアムーブメントボールの開催にあたり、どのようなボールゲームが成立するか想像し、ボールゲームに向けて、準備を進めてきたが、実際にボールゲームが実施されると、子ども達はボールの色を判断し、チームメイトと協力して、チームのゴール籠にボールを入れていた。このことにより、子ども達一人一人の生まれ持ったリズムを尊重した段階的な携わりを提供することにより、コミュニケーション障害を克服できることが確認できた。

身体障害者のアクアムーブメントボール

開催日時	第1回 平成18年11月19日	第2回 平成19年1月28日
	第3回 平成19年2月25日	
開催場所	第1回 東京都多摩障害者スポーツセンター	
	第2回 東京都多摩障害者スポーツセンター	
	第3回 東京都多摩障害者スポーツセンター	
参加人数	第1回 9名	第2回 13名
	第3回 13名	
講師	荒井正人(NPO 法人楽しいスポーツを支援する会認定講師・NPO 法人JAEA 副理事長・水中ムーブメント協会会長・日本体育協会認定公認スポーツ指導員(水泳)・日本体育協会認定公認コーチ(水泳)・日本ムーブメント教育協会認定専門指導員)	
	八木 香(NPO 法人楽しいスポーツを支援する会認定講師日本ホリスティック協会 FC トレーナー・FNC アクアパーソナルトレーナー日本アクアサイズ協会認定講師・健康運動指導士・中高等学校保健体育教諭1種免許)	
指導員	第1回 広瀬靖恵 枳殻尚美 原嶋寿子	(謝金・旅費対象)
	第2回 広瀬靖恵 枳殻尚美 原嶋寿子	高橋幸広
	第3回 高橋幸広 広瀬靖恵 枳殻尚美	原嶋寿子 深澤武
収支:	収入 0 円	支出 116,420 円
	不足分は助成金より	

実施内容

身体障害者のアクアムーブメントボールは、アクアムーブメントとアクアコンディショニングが協調して行なわれた。基本的なアクアムーブメントから指導が始まり、楽しく、

ボールゲームやボールムーブメントを行なった結果、股関節脱臼の障害を忘れる様な動きが見られた。次に、身体各部位の筋肉及び関節を意図的に意識するアクアコンディショニングに移り、いろいろなエクササイズを行なった。その結果、身体の動きは健常者と見劣りしないほど良くなり、アクアムーブメントボール終了後には、歩く姿が見違えるほど改善された人がいた。

股関節脱臼の女性が多かったのですが、水中運動の後のほうが「歩きやすくなった」という声を多く聞くことが出来ました。アクアムーブメントボール事業なのですが、中途障害の方や、高齢の方にとって身体機能改善は非常に意味のあることなので、ゲームの楽しさというよりも機能改善のためのプログラムを中心に行った効果が出たようです。3回目の終了時に「次はいつやるの！」との声がいっつか寄せられました。今回の事業の意義を改めて感じました。

高齢者と関節疾患者のアクアムーブメントボール

開催日時	第1回 平成19年1月14日	第2回 平成19年2月11日
開催場所	第1回 フィットネスクラブ ブリーズベイ	第2回 フィットネスクラブ ブリーズベイ
参加人数	第1回 27名	第2回 26名
講師	荒井正人(NPO 法人楽しいスポーツを支援する会認定講師・NPO 法人JAEA 副理事長・水中ムーブメント協会会長・日本体育協会認定公認スポーツ指導員(水泳)・日本体育協会認定公認コーチ(水泳)・日本ムーブメント教育協会認定専門指導員)	
	八木香 (NPO 法人楽しいスポーツを支援する会認定講師日本ホリスティック協会 FC トレーナー・FNC アクアパーソナルトレーナー日本アクアサイズ協会認定講師・健康運動指導士・中高等学校保健体育教諭1種免許)	
	宇野佳子(NPO 法人楽しいスポーツを支援する会認定講師・アクア オリエンタル アビリティ研究会 代表・日本水泳連盟水泳教師・競泳コーチ・高齢者体力づくり支援士 AEA,WABA,ATRI,HIT 認定指導員・財団法人 体力づくり指導協会 評議員)	
指導員	第1回	第2回 山本祐千
収支:	収入 92,000 円	支出 233,640 円
	不足分は助成金より	

実施内容

ホテルのプールを借用してのアクアムーブメントボールでしたが、講師の先生方の得意とする分野で、目的の異なる水中運動を違う順序で行ってみた。内容は1回・2回とも同様の内容でしたが、参加者が異なったので、雰囲気や重点項目は違っていた。参加者の健

康意識は高く、ボールゲームを成立させるというよりは、様々な水中での動きが自分の身体にどの様な運動効果を表すのかということに興味があるようだった。講師陣も素早くその事を読み取り、身体機能改善についての運動を多く取り入れていた。運動は継続することが重要ですが、健康への意識改善と共に、高齢者に対して楽しさを取り入れていく事の重要性を大きく感じました。

活動情報誌発行

第1号 平成18年10月 500部発行

第2号 平成18年12月 500部発行

第3号 平成19年1月 500部発行

第4号 平成19年3月 500部発行

配布場所 養護学校 関係大学 行政機関 小学校 当NPO会員 希望者

執筆者と執筆内容

第1号 アクアムーブメントボール事業とNPO活動理念・・・理事長 白井正視

アクアムーブメントの考え方と実際・・・講師 荒井正人

水につながる仲間たちと共に「でらーと」にて・・・講師 阿部明子

「でらーと」で普通に生きる・・・講師 小林不二也

社会学の考え方と障害の捉え方

・・・上智大学大学院総合人間科学研究科社会学専攻博士後期課程玉置佑介

活動予定・・・事務局

事務局・講習会申込先・・・事務局

第2号 平成17年度事業報告と今後のアクアムーブメントボール事業

・・・理事長 白井正視

アクアムーブメントの指導展開に必要な知識・・・講師 荒井正人

重症心身障害児(者)とともに過ごした1時間

・・・講師 小児科医 辻山タカ子

ラッコクラブの仲間たち(福島県郡山市レポート)・・・講師 阿部明子

重症心身障害児(者)のアクアムーブメント第2報・・・講師 小林不二也

当事者主権と当事者のメッセージを受けとる能力

・・・上智大学大学院総合人間科学研究科社会学専攻博士後期課程玉置佑介

「アクアムーブメントボール事業」平成18年12月1日現在までの主な活動

・・・事務局

今後のイベント及び講習会・・・事務局

事務局・講習会申込先・・・事務局

第3号 アクアムーブメントボールの進展を目指して！・・・理事長 白井正視

今こそ求められている、「スポーツに対する新しいイメージの獲得」

・・・関東学院大学人間環境学部人間発達学科教授

余暇教育学・体育学博士 鈴木秀雄 Ph.D.

発育・発達と親との関係 ・・・講師・小児科医 辻山タカ子
温水プールの特性と身体意識 ・・・講師 荒井正人
大ちゃんが泳いだ！ ・・・講師 阿部明子
重症心身障害児(者)のアクアムーブメント ・・・講師 小林不二也
アシストと三者関係モデル

・・・上智大学大学院総合人間科学研究科社会学専攻博士後期課程玉置佑介

イベント及び講習会 ・・・事務局

事務局・講習会申込先 ・・・事務局

第4号 18年度アクアムーブメントボール事業を振り返って！・・・理事長 臼井正視
自閉症・多動症とスイミング ・・・講師・小児科医 辻山タカ子
“至適運動※ (Befitting Exercise =ふさわしい運動)”の創出

・・・関東学院大学人間環境学部人間発達学科教授

余暇教育学・体育学博士 鈴木秀雄 Ph. D.

日本レジャー・レクリエーション学会 (JSLRS) 会長

笑顔から生まれる意欲を大切に・・・川島幸子 (小学校障害児学級担任)

重症心身障害児(者)のアクアムーブメント ・・・講師 小林不二也
アクアムーブメントボールの実際 ・・・講師 荒井正人
「当事者」と社会とのくつなぎ

・・・上智大学大学院総合人間科学研究科社会学専攻博士後期課程玉置佑介

平成18年度アクアムーブメントボール事業 ・・・事務局

収支： 収入0円 支出420,000円

不足分は助成金より

第1号の発行が予定より2ヶ月半遅れになったが、10月に500部発行され、1週間後に千葉県小学校副校長先生より連絡があり、活動のVDVを送った。2号より小児科医の辻山先生の執筆も加わり、3号、4号では、東海大学教授の鈴木先生の執筆も加わった。内容は学術的となったが、先生方のご配慮で一般にも理解しやすいものであった。2号、3号の発行後は、数件の問い合わせがあり、知的障害者のアクアムーブメントボール、身体障害者のアクアムーブメントボール、高齢者と関節疾患者のアクアムーブメントボールへの問い合わせもあり、数名が申込をした。

青少年による水球

スイミングチーム

日時 平成18年10月13日

場所 東京都目黒区東が丘2-14-6

太陽教育スポーツセンター内プール

調査担当 伊藤大

費用は助成金より支出

ゴールやルールにおいて当方の希望を取り入れて、勝敗で無く、楽しくゲームをすることに意義を持つように行ってもらった。

年齢層に巾があったのに関わらず、2回の調査の双方ともが楽しくゲームを行っていた。すねフィンを付けたゴールキーパーの動きは制御され、小さい子どもでもゴールを決めることが出来た。このことにより、ルールと共に、用具を研究することにより、様々な年齢層、運動能力の差をカバーして水中ボールゲームが楽しく成立する可能性があることを示唆している。

教材補助用具等の研究開発製造

ボールゲーム用のゴール制作を荒井講師中心に行った。

子供たちが遊び手使用するようなウォーターバレーボール・ウォーターポロ用のネットや、ゴールを購入し、専門学校生徒のウォーターポロゲームに使用したり、スイミングスクールの選手コースのウォーターポロゲームに使用したりしながら研究をした。

アクアムーブメントボールゲームが、知的障害者のアクアムーブメントボールに時間に行われることが決定した時から、玉入れゲームに決定した。その時から玉入れゴールの制作にとりかかり、ゴールを作成した。

もう一つのボールゲームは、キンボールを水中に持ち込み、ボール渡しゲーム等を行った。

浮きうき水着調査は、脳性まひの A さんに協力していただき、講師の小林不二也氏に調査にあたっていただいた。

費用は助成金より支出

玉入れゲームゴール

移動の際の持ち運びが出来、あらゆるサイズのプールにも適応出来るゴールを作ることが出来た。今後はゲーム参加者の体格によってゴールのサイズやエリアを変えることができるようにする必要がある。

浮きうき水着

身体に障害のある方にとって、水の中は陸上と異なり、浮力により開放的な気持ちを味わえ、障害によるハンデを軽減できる数少ない特殊な環境である。その水中での浮き具の役割はとて大きく、障害者のための水着の開発は意義の大きいものである。今回テストで使用した浮きうき水着は、まだまだ改良の余地は多く課題も少なくない。形状・素材・浮き具の装着など一層の改善をしていただくことで、様々な障害者が楽しく水の中で活動できることになるだろう。モデルになった青年は、その後も定期的にプールでの活動を続けている。

平成 19 年 4 月以後の事業

知的障害児のアクアムーブメントボール

主催： 特定非営利活動法人 楽しいスポーツを支援する会

日時： 平成 19 年 5 月 27 日(日)・6 月 10 日(月)

PM2:00～3:00

会場： 柿の実幼稚園

神奈川県川崎市麻生区上麻生 7-41-1

044-988-0229

内容： 約 60 分の水中運動。はじめの 10 分はプールサイドでの体操と、指導員との顔合わせ、その後プールに入って、指導員とコミュニケーションをとりながら散歩。慣れてきたらプール内でのつなぎ遊び、仲良く電車ゴッコや輪になって歌を歌いました。小さなカラーボールが入ってきて、みんなで色ごとに玉入れ競争。今度は大きなボール、全員協力して、ボール運び、指導員も手伝って何とかボール運びが出来ました。またまた、みんなで歌を歌ってお別れです。

講師： NPO 法人楽しいスポーツを支援する会認定講師 荒井正人

指導員： NPO 法人楽しいスポーツを支援する会認定指導員 7 名
協力 アルバイト 2 名 理事 1 名 事務局員 1 名

参加者： 5 月 27 日→13 名 6 月 10 日→9 名

収支： 収入 26,400 円 支出 93,000 円
不足分は準備金より支出

アクアムーブメント指導者養成講習会

主催： 特定非営利活動法人 楽しいスポーツを支援する会

日時： 平成 19 年 5 月 27 日(日)・6 月 10 日(月)

PM3:00～5:00

会場： 柿の実幼稚園

神奈川県川崎市麻生区上麻生 7-41-1

044-988-0229

内容： 5 月 27 日・・・発育・発達と親との関係

6 月 10 日・・・自閉症・多動症とスイミング

母子の関係を中心に、学校の先生や水泳指導者にとっても、現場において実際に必要な知識と、指導者の心の持っていきようを講義していただきました。先生の子ども達に寄せる熱い思いと小児科医としての情熱が伝わり受講者より拍手が沸き起こりました。

講師： NPO 法人楽しいスポーツを支援する会認定講師 小児科医 辻山タカ子
協力 アルバイト 2 名 理事 1 名 事務局員 1 名

参加者： 5月27日→9名 6月10日→8名
収支： 収入35,000円 支出75,000円
不足分は準備金より支出

重度障害児のアクアムーブメントボール

主催： 特定非営利活動法人 楽しいスポーツを支援する会
後援： 神奈川県立中原養護学校
日時： 平成19年7月25日(水)・8月20日(月)
PM1:30～3:00(①1:30～2:10 ②2:20～3:00)
会場： 神奈川県立中原養護学校
〒211-0035 神奈川県川崎市中原区井田3-13-1
☎044-755-1632 FAX044-752-7786

参加者：
内容： 約40分間のプール内運動でリラクゼーションと求心性トレーニング
中原養護学校の先生方も混ざり、マンツーマンで水中運動を行いました。
NPO法人講師・指導員によるアクアムーブメント
つなぎ遊び、個人遊びを織り交ぜ、ゆっくりとした水中の動きに、リ
ラクゼーション効果を持たせ、プログラム構成をした。
講師： NPO法人楽しいスポーツを支援する会認定講師 荒井正人
指導員： NPO法人楽しいスポーツを支援する会認定指導員、その他水泳指導経験者
7月24日→5名 8月20日→8名
収支： 収入0円 支出77,140円
不足分は準備金より支出

高齢者のアクアムーブメント

主催： NPO法人楽しいスポーツを支援する会
後援： 株式会社ハルク ブリーズベイホテル
日時： 平成19年9月9日(日)
PM1:30～2:30
会場： フィットネス・クラブ・ブリーズベイ
内容： ☆アクアコンディション (20分) 八木 香
水中で身体機能
☆脳の活性アクア (20分) 宇野 佳子
水中で脳を活性化
☆アクアムーブメント (20分) 荒井 正人
ボールを用いた水中運動

参加者： 16名
収支： 収入 21,000円 支出 53,700円
不足分は準備金より支出

自閉症児の水泳指導

主催： NPO 法人楽しいスポーツを支援する会
後援： 株式会社ハルク ブリーズベイホテル
日時： 平成 19 年 9 月 14 日(金)28 日(金)
PM3:30~4:30
会場： ヨネッティープール
内容： 自閉症児のアクアムーブメント
指導員 1 名で、2 名の兄弟自閉症児の水中運動
収支： 収入 14,000円 支出 13,400円

その他の事業は行いませんでした